

ビームみらいステージは、日本ライフル射撃協会競技ルール(2023年11月1日)を基本とした、大会特別ルールで競技を実施します。

競技方法

- ビームライフルまたはビームピストルで、標的に対して合計40発の射撃を行い、その合計点で順位を決定する。
- ビームライフル種目は、小数得点で採点する。1発の最高得点は10.9点であり、40発の最高合計得点は436点となる。
- ビームピストル種目は、整数得点で採点する。1発の最高得点は10点であり、40発の最高合計得点は400点となる。

射撃姿勢・装備

ビームライフル種目

- 姿勢は、自由姿勢とする。銃は、選手自身の腕で支えるか、机・支持具などの台の上に置いて支える。
- 銃を固定してはいけない。
- 射撃ジャケットを着用してはならない。

ビームピストル種目

- 姿勢は、自由姿勢とする。銃は、選手自身の腕で支えるか、机・支持具などの台の上に置いて支える。
- 銃を固定してはいけない。

競技時間

- 各種目は、同じ開始時刻の選手同士をまとめたグループを、「射群」と呼ぶ。
- 1つの射群には、用具の準備や射撃練習をしても良い「準備・試射」の時間と、採点される40発の射撃を行う「本射」の時間に分かれる。

初心者向け照準調整時間10分、準備・試射時間10分、本射20分とする。

※通常の射撃競技では、準備時間と試射時間は異なるものですが、本大会では1つにまとめます。

- 競技時間は、東京で管理する。その他の会場（オンラインを含む）は、YouTubeでの配信を参照し、競技時間を確認する。

※特に、試射時間と本射時間の区切りにはご注意ください。時間を誤ると、試射のつもりで撃った弾が、本射の弾として採点されることがあります。

射撃距離

- すべての種目において、選手と標的間の距離は10mとする。

採点等に関する注意事項

- 本射時間内に射撃された弾のみ、採点される。それ以外の時間に発射された弾は、一切採点されない。
- 本射時間内に、41発以上の射撃を行った場合、40発目までの弾のみを採点対象とする。
※通常の射撃競技では、規定弾数以上を撃つと、減点ペナルティがあります。本大会では、ペナルティは設けませんが、原則として、41発目以上の射撃は行わないでください。
- 本射時間内に、40発を撃ちきることができなかった場合でも、原則として時間延長は認めず、撃つことのできた弾のみ採点する。
- 本大会のルールから激しく逸脱する行為や、危険行為が確認された場合、失格となることがある。

故障時の対応

- 競技時間中に、標的装置や銃器が故障した場合でも、時間延長等の対応は行わない。
- 競技時間内に故障を修理することができた場合、または予備装置への交換ができた場合、競技時間内であれば、射撃を続行(再開)してよい。

安全について

- 銃は、絶対に人に向けないこと。
- 射撃時以外は、銃口には銃口カバーを装着すること。
※銃口カバーは、巾着袋などでも構いません。オレンジ色などの蛍光色を推奨します。